

製品名: ABCG2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80991**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、ラット、ウサギ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ICC 1:50-1:500,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	72kDa

抗原情報

遺伝子名	ABCG2
別名	MRX; MXR; ABCP; BCRP; BMDP; MXR1; ABC15; BCRP1; CD338; CDw338; EST157481; MGC102821
遺伝子 ID	9429.0
SwissProt ID	Q9UNQ0
免疫原	大腸菌で発現したヒト ABCG2 の精製された組み換え断片。

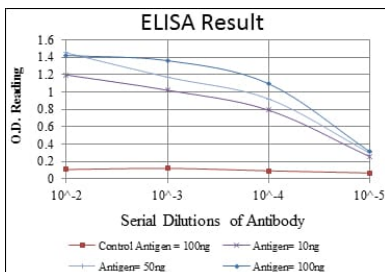
背景

この遺伝子によってコードされる膜関連タンパク質は、ATP 結合カセット (ABC) トランスポーターのスーパーファミリーに含まれ

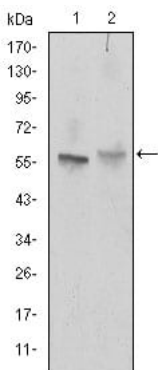
る。ABC タンパク質は、細胞外膜および細胞内膜を越えて様々な分子を輸送する。ABC 遺伝子は、7つの異なるサブファミリー (ABC1、MDR/TAP、MRP、ALD、OABP、GCN20、White) に分類される。このタンパク質は White サブファミリーのメンバーである。乳がん耐性タンパク質とも呼ばれるこのタンパク質は、異物トランスポーターとして機能し、多剤耐性において重要な役割を果たす可能性がある。ミトキサントロンおよびアントラサイクリンへの曝露に対する細胞防御機構として機能する可能性が高い。このタンパク質は胎盤で有意に発現していることが観察されており、胎盤組織においてこの分子が何らかの役割を果たしている可能性があることを示唆している。組織特異性: 胎盤で高発現。小腸、肝臓、結腸では低発現。

研究分野

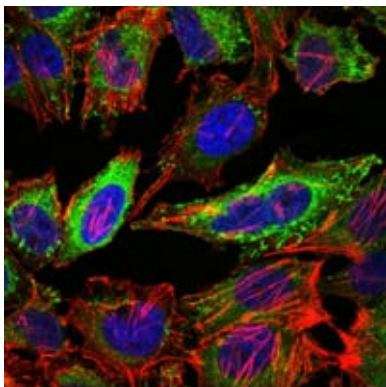
画像データ



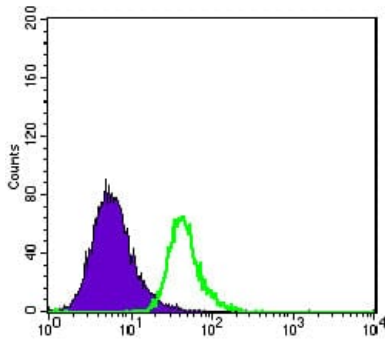
赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



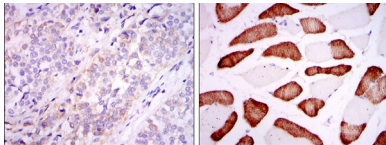
NIH/3T3 (1) および Cos7 (2) 細胞溶解物に対する ABCG2 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



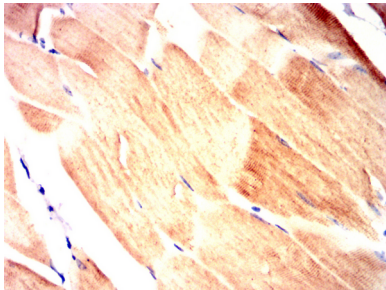
ABCG2 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



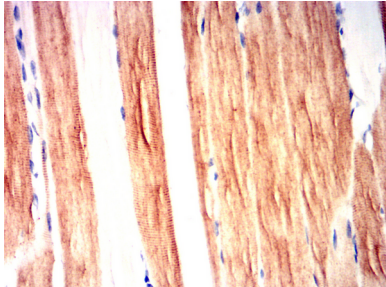
ABCG2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (紫) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による ABCG2 マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト膀胱癌組織 (左) と骨格筋組織 (右) の免疫組織化学分析。



DAB 染色による ABCG2 マウス mAb を使用したパラフィン包埋マウス筋肉の免疫組織化学分析。



DAB 染色による ABCG2 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ラット筋肉の免疫組織化学分析。



DAB 染色による ABCG2 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ウサギ筋肉の免疫組織化学分析。